

# 新報

島根県教育庁  
隠岐教育事務所  
隠岐の島郡瀬戸町24  
電話 2-9772

## より良い二学期を迎えるために

学校では、通信票づくりで大忙しの頃ですね。子供たちにとって、どんな一学期だったでしょうか。地中より一生懸命芽を伸ばそうとする植物や、サナギから全身全霊をかけて成虫になるうとする昆虫と同じように、クラス替え、学校の新体制、転勤などで、子供たちにとっても、保護者や教職員にとっても、一学期はエネルギーの必要な時です。

各学校を訪問し、先生方が大きなエネルギーを費やし、子供たちや保護者、地域の方々の不安に寄り添い、「みんなが笑顔になれる」よう頑張っておられる姿を見せていただきました。この「みんなが笑顔になれる社会（学校）」を目指すというのは人権・同和教育の大切な視点です。一人一人の特性を理解し、または理解しようとして、担任が単独（オレ流で）指導するのではなく、組織的に指導にあたる特別支援教育の充実も感じることができました。一学期に大きなエネルギーをもって日々奮闘されてきたことは、子供たちに必ず生かされていくと信じています。

学校、家庭にお願いしたいことは夏季休業での「繋ぎ」です。今、子供たちは大人から注いでもらったエネルギーに満ちています。しかし、これが夏季休業でなくなってしまうと、新学期のスタートでそれまで以上の支援が必要になってしまふことがあります。心身の休養と豊かな体験、学校との繋がりがあふ夏季休業になれば、より一学期の取組が生きると思っています。学校

## 【支援専任教員「この一年」】 対話の精神と「隠岐の心」

と家庭、地域で連携していたきたいと思えます。  
(文責 新谷)

この仕事について一年がたつ。先生方の相談にのりながら、いくつかの原則が見えてきた。

①先生方の相談とは「授業について語り合うこと」これに尽きる。

②まず、話をしっかり聞く。「人は、自分の話をきかんと聞いてくれる人の話を聞きたがる」と本にあった。この言葉を反すうし、話したくなる自分を抑える。

③悩みをしっかりと話してもらおう。「悩みを話すことは、悩みを自分から離すこと、手放すこと」とカウンセリングの先生がいつていた。言葉の意味が深い。

④すべてを解決してしまわない。宿題は次回への結び目として、相手を寄り切ってしまうわない。

今日、「語り合うこと」対話」をめぐる人間関係はどうなっているだろう。親と子において、担任と児童生徒において、他者と自分において、「対話による合意形成」より「一方通行の指示・命令」があまりに多い気がする。コミュニケーションの語源である「commun」には、「共通の」「共同の」という意味があるという。自分の思いを丁寧に伝え、相手の思いを大事に汲み取る。思いを共有し、合意形成する。こうした「対話による合意形成」をもっと意識して人間関係を育みたい。

私たちの隠岐は、明治維新のころ自治政府を樹立した。「隠岐騒動」と歴史には刻まれている。その教訓を「納得いくまでの対話」「ねばり強い交渉」「決定に基づく統一した行動」「暴力によらない礼節をわきまえた態度」と私は理解している。先祖さんたちが、島をあげ命がけで耕してくれた「対話の精神」、これを「隠岐の心」として懐に

## 社会教育委員 連絡協議会

入れ、バイクで、フェリーで、隠岐の学校を回っていきたい。  
(文責 野津)

六月二十八日(木) 西ノ島の島前集合庁舎におきまして、隠岐地区社会教育委員連絡協議会が行われました。

各町村には、社会教育を推進していくうえで非常に大切な役割を担っている社会教育委員がいます。隠岐地区では、それぞれの町村から委嘱を受けた二十七名の方が活躍されています。社会教育委員の主な役割は次の通りです。

- 行政と住民のパイプ役
- 住民の学習ニーズに関するアンテナ的役割
- 住民と一緒にあって社会教育活動を推進・調整
- 社会教育関係団体への支援者的役割

したがって、社会教育関係者にとって、社会教育委員は応援団といえます。社会教育委員に相談したり、協働して

事業を行ったりすることで、地域の課題や想いを行政に届けることができます。

今回の協議会には、各町村の社会教育委員と社会教育行政担当者が二十名ほど集まり、それぞれの町村の活動状況を情報交換したり、社会教育推進に向けて研修したりしました。

研修では、島根県教育庁社会教育課の三島伸仁サブリダーに講話いただき、しまねの社会教育がめざす「地域づくりを担う人づくり」における公民館や社会教育委員の役割について学ぶことができました。また、社会教育委員が大切にしてほしいこととして「当事者意識を持つこと」「考えること」「議論すること」「お互いが動くこと」が示され、社会教育委員の心構えについても再認識できました。

この協議会で得た情報や学んだ内容が、それぞれ委員にとってこれからの活動の糧となり、各町村の社会教育がより一層推進されることを願っています。  
(文責 林)